

05N026_Pembro(1)+CBDCA(1)+nab-PTX(1・8・15)_3週毎

Pembrolizumab(Day1) + CBDCA(Day1) + nab-PTX(Day1・8・15) 3週毎 4コース

◆ _____月 _____日(Day1)から _____コース実施。(外来で実施・入院で実施)

◆ 免疫チェックポイント阻害薬導入時は「投与前スクリーニングセット検査」が必要です。

◆ 検査が実施されない場合、がん化学療法の実施は認められません。

Rp	商品名	用量[基準量]	投与方法	Day0	1	2	3	4	5	6	7
1	生食注(50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
2	生食注(100mL) キイトルーダ点滴静注	1 瓶 200mg[200mg/body]	div / 30min		○						
3	生食注(50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
4	グラニセトロン点滴3mgバッグ アロカリス点滴静注235mg デカドロン注射液1.65mg	1 袋 1 瓶 3 A	div(側管) / 30min		●						
5	生食注(100mL) デカドロン注射液1.65mg	1 瓶 4 A	div(メイン) / 15min								● Day 8 / Day 15
6	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管※2) / フラッシュ		●						● Day 8 / Day 15 ※2 Day8・15はメインルートを使用
7	生食注 アブラキサン点滴静注	※1 _____mg[100mg/m ²]	div(側管※2) / 30min		○						○ Day 8 / Day 15 ※2 Day8・15はメインルートを使用
8	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管) / フラッシュ		●						● Day 8 / Day 15 ※2 Day8・15はメインルートを使用
9	ブドウ糖注5%(250mL) カルボプラチン注	1 袋 _____mg[AUC 6]	div(側管) / 1hr		○						
10	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管※2) / フラッシュ		●						● Day 8 / Day 15 ※2 Day8・15はメインルートを使用

※1 アブラキサン注投与量が1~200mgの場合は生食50mL、201mg以上の場合は生食100mLを用いる。

- ・ アブラキサン注の投与にあたっては、インラインフィルターを使用しないこと。
- ・ キイトルーダ注の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2~0.22 μ m)を使用すること。
- ・ キイトルーダ注の希釈後濃度は、1~10mg/mLとなること。
- ・ 特定生物由来製品(アブラキサン)説明書を発行して、患者へ説明すること。